

ADICA Web system

生産管理スケジュール管理システム

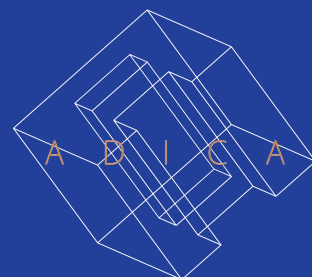
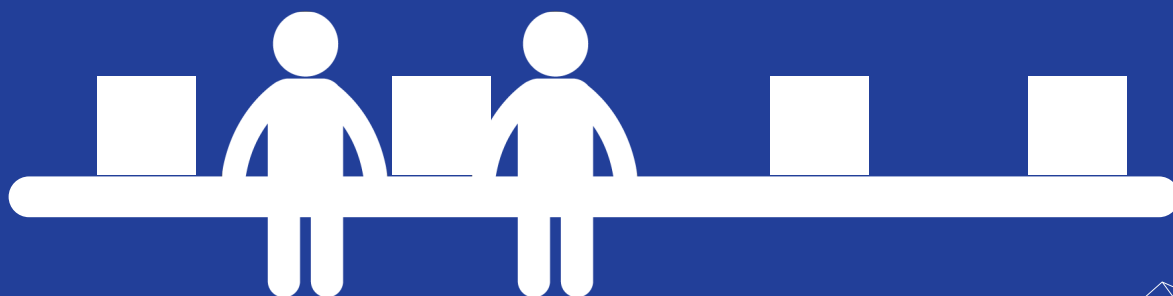
生産・製造工程の「タイムラグ」を解消

タイムリーなマネジメント・予実管理を
シンプルかつに正確に実現

「セントラルキッチン」から「大規模工場」まで生産・製造工程を一括管理。
各担当者間での情報共有にかかる時間を大幅に軽減！わかりやすい操作と効果！

ADICA Web System

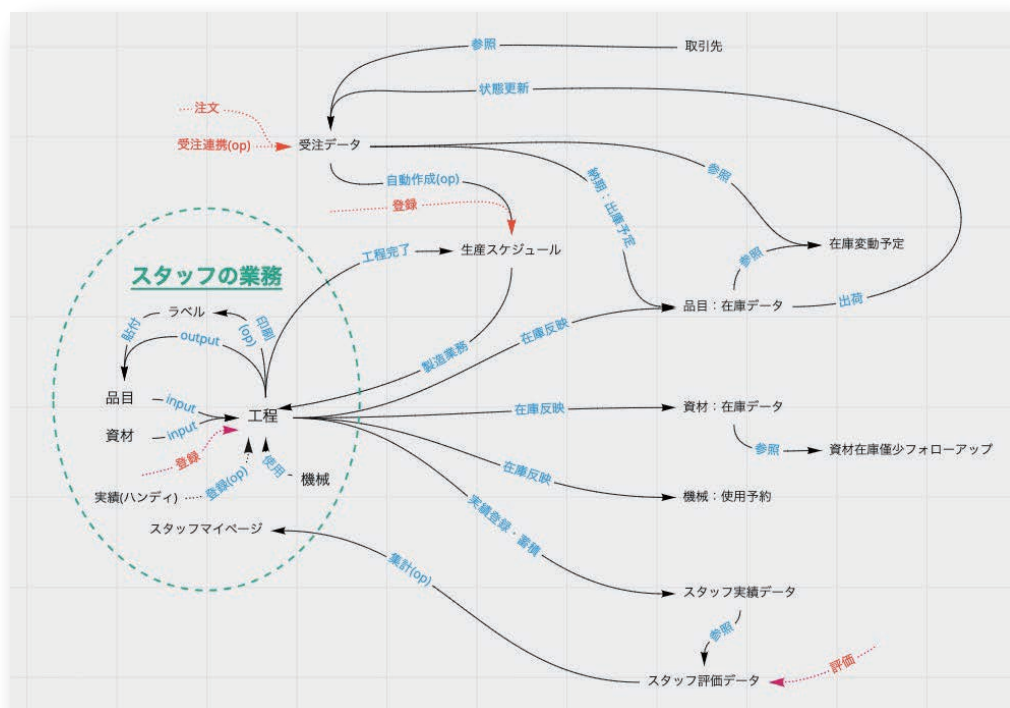
生産管理
スケジュール管理
システム



製品概要

食品・製品生産工場での生産管理をまとめて行う IT フル活用システム受注、製造、在庫、生産スケジュールを一括で管理します。製造工程内でできるだけ少ないオペレーションで管理を行える様工夫しております。

基本システムに加え拡張機能によりきめ細かい管理データの活用が可能となります。データ化されることで生産スケジュールの自動生成が可能となり、従業員一人ひとりの生産性を算出しよりよい作業配置及び評価が可能となります。生産性の向上が明確に確認できるため、社員一人ひとりにきめ細かい評価が可能となります。目標も明確に提示できるため従業員一人ひとりが理解出来モチベーションとやるべきことに向けた思考になれる環境が構築されます。本製品は、生産管理の理想の効率化を目指し制作いたしました。



導入業種

セントラルキッチン
食品生産・加工工場
飲料生産工場
部品生産工場
資材生産工場
機器製造工場
など



ADICA Web System

生産管理 スケジュール管理 システム

生産管理の理想をかたちにしました！！

生産管理の問題点

○生産工程での作業者が目指す目標がわかりにくい。

→システム導入により実際の作業スピードをリアルタイムに把握できるため、その都度作業の速度改善を意識して作業が進められる。

○実際に何をどのように改善すればよいかわからなかった。

→システム導入により目標数値（数／時間）を設けることで工程内毎にどの程度時間をかけられるかが把握できる。

○会社の目指す目標を現場での行動に反映しきれなかった。

→システム導入により従業員が目指す目標を数値として会社側が提示できる。また、進捗状況もリアルタイムに把握が可能のため、ペース配分を個々が意識しながら作業を進められる。

○やるべきことが一部の従業員しかわからず、個々がやるべきことへの落とし込みに時間がかかっていた。

→データの一括管理により会社の目標→現場の各工程での目標が数字をシステムで自動算出可能となるためマネジメント、作業割り振りにかける時間を大幅に短縮できる。

問題を明確化し対策・判断精度を 飛躍的にアップさせます！！

改善すべき項目に着目し手段を決定し改善項目に集中して作業を進めることがもっとも重要です。改善項目を明確にするためにも情報の一括管理が不可欠です！

生産管理をサポートする2つのシステム製品

○生産・在庫管理システム

POINT 1

リアルタイムな在庫管理が可能

製造・出荷工程で在庫数をリアルタイムに管理できるため、常に実在庫を把握し出荷予定が容易に行えるようになります。また、生産予定を元に未来の予定在庫まで把握できるため、長期的な出荷計画を立てることが可能になります。

POINT 2

意図しない在庫過多、在庫不足を事前に防止

受注状況を元に長期定的な在庫管理が行えるため予想外の在庫過多、在庫不足を未然に防ぐことが可能になります。

POINT 3

製造工程のリアルタイムな進捗把握が可能

リアルタイムに生産数量の確認が可能のため進捗をリアルタイムに確認することが可能です。進捗を把握することで作業の早期ペース調整が行えます。

作業予定・指示・在庫の管理を一括で行うことで激的な生産の効率化を図ります！

生産工程において正確な在庫、作業指示、生産量の把握はとても重要です。しかし作業工程においてこれらの情報の管理を人主体で管理・把握することは生産量が増えれば増えるほど難しくなってきます。生産量が増えることで負担となる情報管理を一括で行い。生産工程で必要最小限のオペレーションで把握できるようになることで生産量の増加による負担の増加を極力抑え生産作業に集中できる環境を構築できます。また、生産した商品はもちろん原材料、一次材料などの工程ごとに複数の材料管理が可能のため、原材料から一次材料への変化を工程ごとに管理できて、各生産工程ごとの在庫管理がスムーズにシフトできるようになります。また、作業中に生産数をリアルタイム管理することで生産進捗を確認しながら作業のペースを管理者、作業者が把握しながら作業を行うことができるた遅延発生を早期に発見できるため早めの対策・フォローが可能となります。目標と現状をつねに把握することで余裕をもった作業計画、作業配分が可能になり努力すべき項目、作業内容を見ながら効率的な作業が会社全体で可能になります。

The screenshot displays the '生産管理スケジュール管理システム' (Production Management Schedule Management System) interface. It features a sidebar with navigation buttons for 'マイページ' (My Page), '業務管理(製造・出荷)' (Business Management (Production/Shipping)), '受注管理' (Order Management), '生産スケジュール管理' (Production Schedule Management), '資材入庫' (Material Inbound), '取引先マスタ' (Customer Master), '品目マスタ' (Item Master), '資材マスタ' (Material Master), '機材マスタ' (Equipment Master), '保管先マスタ' (Storage Location Master), '工程マスタ' (Process Master), '仕組情報マスタ' (Setup Information Master), 'スタッフマスタ' (Staff Master), and '環境設定' (Environment Settings). The main area contains several data entry and monitoring screens, including '製造予定フォローアップ' (Production Schedule Follow-up), '品目在庫フォローアップ' (Item Inventory Follow-up), '資材在庫フォローアップ' (Material Inventory Follow-up), and '出荷予定フォローアップ' (Shipping Schedule Follow-up). Each screen has a table for data entry with columns for item name, quantity, and status. The bottom section shows a detailed production schedule table with columns for item name, quantity, and status, and a summary table for production progress.

生産・在庫管理システム画面

○生産スケジュール管理システム

POINT 1

生産数をもとに製造担当者のスケジュールを作成

生産数をもとに担当者の勤務時間を確認しながらスケジュール・シフト作成が可能になります。また、オプション機能を加えることで人員スキルに合わせ半自動的にシフト作成が可能となります。更に、販売管理システム（※1）と連動することで生産数を受注状況から算出できるため生産数の算出を自動化できます。

POINT 2

明確な各担当者の生産目標数を提示

1日の生産予定量を事前に把握することで製造担当者の準備・作業配分など個々の計画が可能となります。また、「生産・在庫管理システム」と連動することでリアルタイムな生産進捗が確認できるため管理者・担当者が生産ペース調整が可能になります。

POINT 3

前年、前月の情報を参考に生産スケジュールを作成

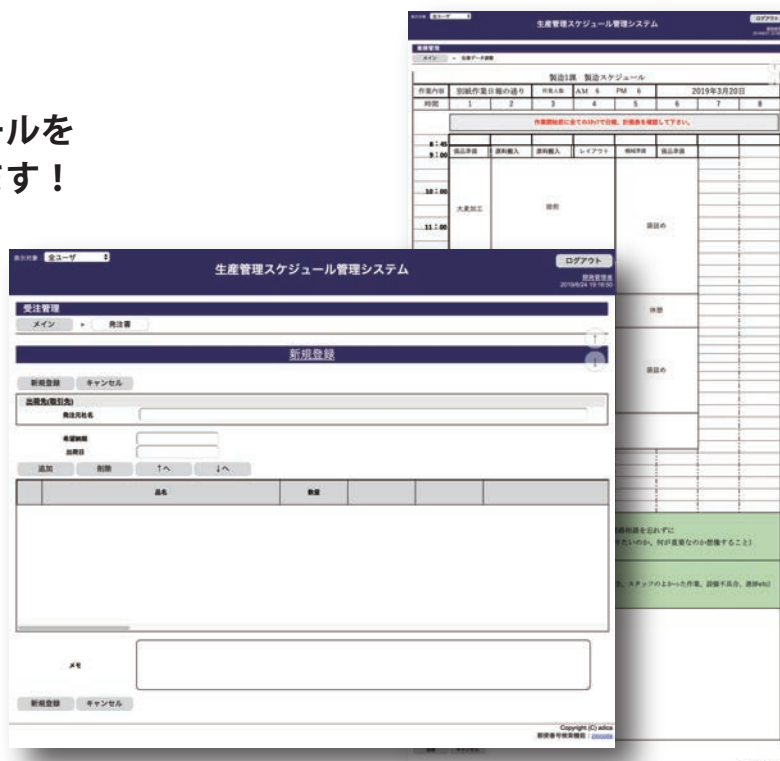
前年、前月の生産実績をもとに販売目標を立てることが可能となり、受注状況に対する生産ではなく、販売目標に合わせた生産スケジュールを事前に立てることが可能になり人員、シフト調整を早期に行えます。

（※1）

販売管理システムは、本製品とは別のシステムとなり、販売状況を CSV 出力が可能なシステムが対象となります。

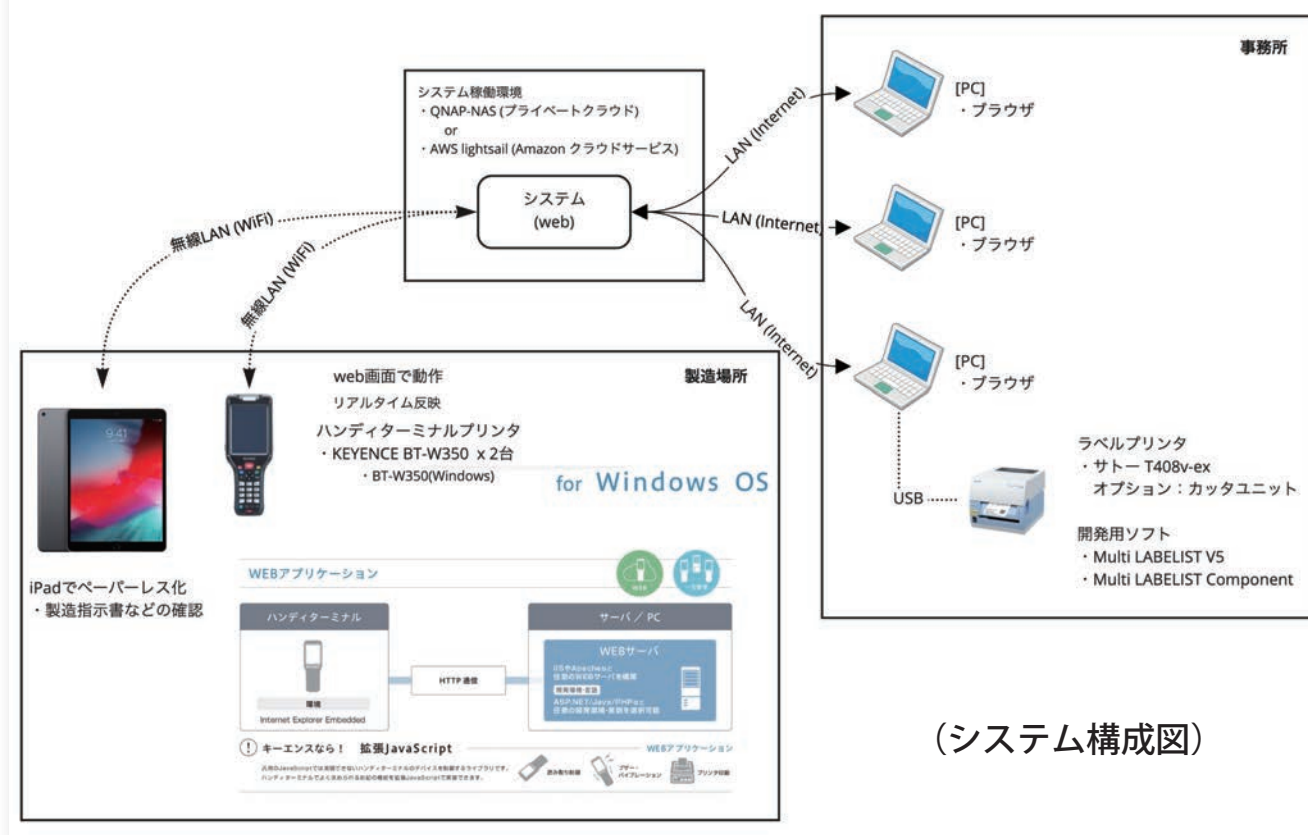
管理情報をフル活用し早期スケジュールを簡単かつスムーズに作成可能になります！

様々な情報、状況を把握しその都度時間をかけて作成していたスケジュール、シフトをシステムで管理する情報をもとに半自動で作成することが可能になります。長期的なスケジュール管理が可能になるだけでなく、状況によるスケジュール変更に対する早急な対応も可能になります。また、スケジュール作成に費やしていた時間と能力を他の作業に費やすことが可能になります。自動化出来ることは自動化し、人にしかできない、自動化できない作業に集中できる環境構築にお役立て頂きたいです。



スケジュール管理システム画面

全てはスムーズな生産管理のために生産管理の理想をシンプルな操作と直感的な表示でスムーズかつ正確に情報を管理します。



生産効率をリアルタイムに判断し人員評価・配置・能力向上への早期対応が可能になります！

個々の生産能力を把握することで改善点、目標が明確になり個々の努力、工夫の目安になります。また、会社として個々の能力の向上・低下を把握できるため対策と改善を早期に行うことが可能です。問題を最小限にし効率の良い工程改善、体制改善に集中できます。

スタッフの能力向上を正確に把握することでスタッフへの目標設定、評価・還元が行えるため会社全体の士気を高めることが可能になります。明確な目標と明確な対応・対策の方向性を個々が把握することで効率の良い快適な作業環境の実現が可能になります。本システムにより作業効率はもちろん、スタッフ個々のモチベーションアップ、快適作業環境構築に繋がる情報提供が可能です。よりよい会社環境の構築にお役立ていただきたいです。



スタッフへの報奨機能 (オプション)

システム製品構成

基本システムに加え必要機能をオプションで拡張することが可能になっています。お客様の工程・環境に合わせて拡張できますので不要機能を省くことが可能です。

○生産・在庫管理システム

生産・在庫管理の基本ベースとなる基本システムです。

(オプション)

- ・ラベル印刷機能

製品を管理するためのラベル印刷機能を拡張できます。

- ・作業状況のハンディ登録機能

作業状況（生産完了登録）などを生産工程でハンディを使い登録する機能を拡張できます。

- ・人員評価機能

作業員の生産実績をもとに生産性解析を行い生産能力を出力可能となる機能を拡張できます。

○生産スケジュール管理システム

生産スケジュール管理の基本ベースとなる基本システムです。

(オプション)

- ・受注管理システム連携機能

販売管理システムと連携する機能を拡張できます。

- ・スケジュール自動作成機能

納品スケジュールと商品の在庫数量から半自動で生産スケジュールを立てる機能を拡張できます。

※システム製品とは別に、PC、タブレットなどの Web サイトへアクセス可能なハードウェア機器が必要となります。また、本製品はクラウド環境で動作する製品となりますのでクラウド環境の構築（自社にサーバー環境を構築するか、クラウドサービス環境の契約により）が必要となります。環境構築から保守サポートも含めお客様に合わせたサポート製品を取り揃えておりますのでお客様の環境をヒアリングさせていただいた後にお見積りさせていただきます。まずは、弊社へ御連絡下さい。

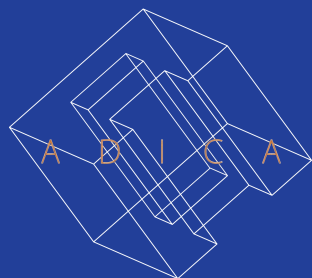
システムに関する詳細は、電話・問い合わせフォームにてお問い合わせ下さい。



アディカパッケージ

検索

<https://adica.co.jp/package>



株式会社アディカ

〒963-8016 福島県郡山市豊田町3-2-5

☎ 024-983-1330

mail support@adica.jp

※お気軽にお問い合わせ下さい。